

## 平成25年3月期 第1四半期決算のお知らせ

東京海上日動あんしん生命保険株式会社(社長 北沢 利文)の平成25年3月期第1四半期決算(平成24年4月1日～平成24年6月30日)については添付のとおりです。

### 1. 契約の状況(主要業績)

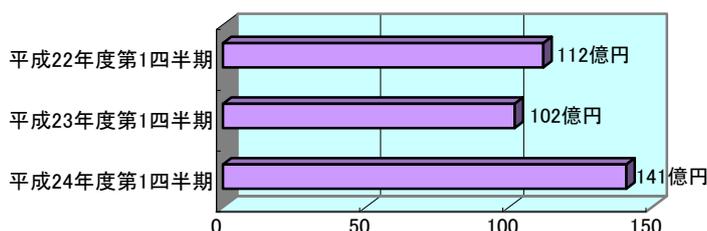
新契約年換算保険料は、「メディカルKit」や法人向け定期保険の増収等により、141億円(前年同期比137.1%)となりました。【図1①】

保有契約年換算保険料は4,253億円(前年度末比101.4%)、保有契約件数は361万件(同101.7%)となり、成長を持続しています。

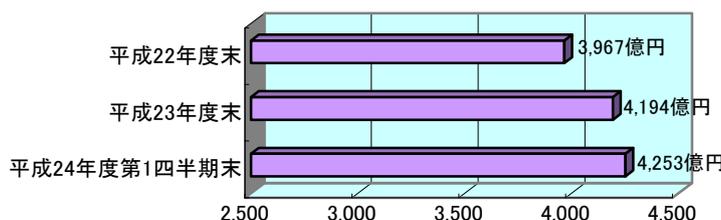
【図1②】【図2】

【図1】年換算保険料の推移(個人保険+個人年金保険)

<①新契約年換算保険料>



<②保有契約年換算保険料>



### 2. 損益の状況

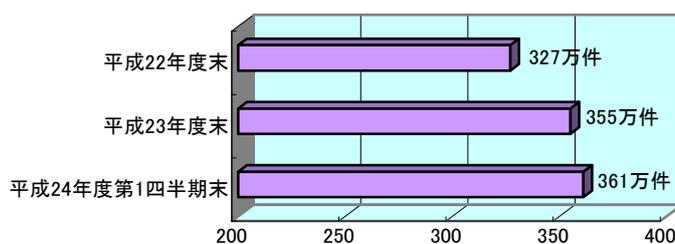
四半期純利益は前年同期比ほぼ同水準の29億円、基礎利益は有価証券利息収入の増加等により、前年同期比10億円増益の72億円となりました。

### 3. 総資産の状況

総資産は、現金担保付債券貸借取引の拡大等により、前年度末から3,434億円増加し、4兆2,265億円(前年度末比108.8%)となりました。

【図3】

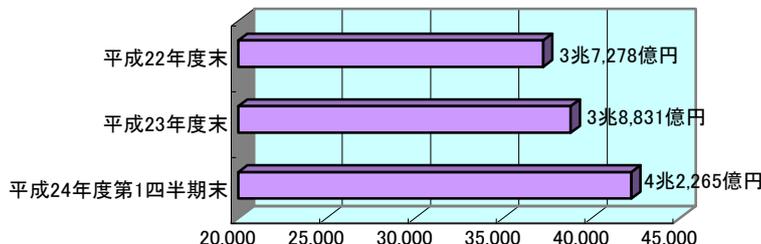
【図2】保有契約件数の推移(個人保険+個人年金保険)



### 4. 健全性の指標

保険金等の支払能力を示すソルベンシー・マージン比率は、有価証券残高の増加に伴う資産運用リスクの増加等により前年度末比185.7ポイント低下しましたが、1,960.1%と引き続き高い水準を確保しており、優れた健全性を示しています。

【図3】総資産の推移



<当社の格付(平成24年8月10日現在)>

格付投資情報センター(R&I)  
スタンダード&プアーズ(S&P)

保険金支払能力格付 AA+  
保険財務力格付 AA-

## 平成25年3月期 第1四半期決算のお知らせ 目次

1. 保険業績関係	1 頁
保有契約高及び新契約高	
年換算保険料	
2. 四半期貸借対照表	2 頁
3. 四半期損益計算書	3～4 頁
経常利益等の明細（基礎利益）	
4. 資産運用関係（一般勘定）	5 頁
有価証券の時価情報	
デリバティブ取引の時価情報	
5. ソルベンシー・マージン比率	6 頁
実質資産負債差額	
6. 用語説明	7～8 頁

## 1. 保険業績関係

### 保有契約高及び新契約高

#### ・保有契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	前事業年度末 (平成24年 3月31日)				当第1四半期会計期間末 (平成24年 6月30日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比
個 人 保 険	3,288	108.6	186,602	106.1	3,341	101.6	188,777	101.2
個 人 年 金 保 険	265	107.8	11,178	109.5	270	102.2	11,425	102.2
団 体 保 険	-	-	29,696	99.7	-	-	28,113	94.7
団 体 年 金 保 険	-	-	44	82.1	-	-	41	93.1

#### ・新契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	前第1四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 6月30日)				当第1四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
個 人 保 険	96	88.5	5,516	83.0	102	106.8	6,082	110.3
個 人 年 金 保 険	4	142.5	239	146.5	9	210.7	421	176.1
団 体 保 険	-	-	76	90.7	-	-	38	50.8
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-

### 年換算保険料

#### ・保有契約

(単位:億円、%)

区 分	前事業年度末 (平成24年 3月31日)				当第1四半期会計期間末 (平成24年 6月30日)			
			前年度末比				前年度末比	
個 人 保 険		3,485		106.8		3,540		101.6
個 人 年 金 保 険		708		100.5		713		100.7
合 計		4,194		105.7		4,253		101.4
	うち医療保障・ 生前給付保障等	871		109.7		897		103.0
	うち医療・がん	715		114.0		731		102.3

#### ・新契約

(単位:億円、%)

区 分	前第1四半期累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 6月30日)				当第1四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日)			
			前年同期比				前年同期比	
個 人 保 険		90		87.1		121		133.8
個 人 年 金 保 険		12		148.6		19		161.7
合 計		102		91.7		141		137.1
	うち医療保障・ 生前給付保障等	26		109.0		31		119.1
	うち医療・がん	24		104.6		28		113.1

2. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前事業年度末 (平成24年 3月31日)		当第1四半期会計期間末 (平成24年 6月30日)		比較増減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
(資産の部)		%		%	
現金及び預貯金	23,813	0.61	21,032	0.50	△ 2,781
コーポレート	4,391	0.11	8,882	0.21	4,491
債券貸借取引支払保証金	58,753	1.51	56,299	1.33	△ 2,453
買入金銭債権	176,979	4.56	142,981	3.38	△ 33,997
有価証券	3,483,975	89.72	3,856,345	91.24	372,369
国債	3,196,192		3,549,753		353,560
地方債	12,662		11,860		△ 801
社債	159,752		188,995		29,242
株式	342		245		△ 97
外国証券	115,025		105,490		△ 9,535
貸付金	61,197	1.58	61,348	1.45	150
保険約款貸付	61,197		61,348		150
有形固定資産	943	0.02	937	0.02	△ 6
無形固定資産	27	0.00	27	0.00	-
代理店貸	525	0.01	411	0.01	△ 114
再保険	2,087	0.05	1,538	0.04	△ 548
その他資産	39,751	1.02	49,215	1.16	9,464
繰延税金資産	31,569	0.81	28,459	0.67	△ 3,109
貸倒引当金	△ 853	△ 0.02	△ 883	△ 0.02	△ 29
資産の部合計	3,883,162	100.00	4,226,596	100.00	343,434
(負債の部)					
保険契約準備金	3,087,146	79.50	3,137,791	74.24	50,644
支払準備金	17,255		16,408		△ 846
責任準備金	2,991,571		3,040,757		49,186
契約者配当準備金	78,319		80,624		2,304
代理店借	4,289	0.11	3,452	0.08	△ 837
再保険	3,145	0.08	1,615	0.04	△ 1,529
その他の負債	658,299	16.95	943,338	22.32	285,038
債券貸借取引受入担保金	638,149		927,403		289,254
未払法人税等	3,858		1,597		△ 2,260
リース債務	322		299		△ 23
その他の負債	15,969		14,038		△ 1,931
退職給付引当金	2,668	0.07	2,846	0.07	177
特別法上の準備金	3,969	0.10	4,066	0.10	96
価格変動準備金	3,969		4,066		96
負債の部合計	3,759,519	96.82	4,093,109	96.84	333,589
(純資産の部)					
資本金	55,000	1.42	55,000	1.30	-
資本剰余金	35,000	0.90	35,000	0.83	-
資本準備金	35,000		35,000		-
利益剰余金	6,773	0.17	9,675	0.23	2,902
その他利益剰余金	6,773		9,675		2,902
繰越利益剰余金	6,773		9,675		2,902
株主資本合計	96,773	2.49	99,675	2.36	2,902
その他有価証券評価差額金	27,723	0.71	33,219	0.79	5,495
繰延ヘッジ損益	△ 854	△ 0.02	591	0.01	1,445
評価・換算差額等合計	26,869	0.69	33,810	0.80	6,941
純資産の部合計	123,642	3.18	133,486	3.16	9,844
負債及び純資産の部合計	3,883,162	100.00	4,226,596	100.00	343,434

### 3. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	比較増減
		金 額	金 額	
経常収益		132,144	144,672	12,528
保険料等収入		113,433	123,088	9,655
(うち保険料)	(	111,226)	( 120,841)	( 9,614)
資産運用収益		17,128	20,124	2,996
(うち利息及び配当金等収入)	(	15,826)	( 17,213)	( 1,387)
(うち有価証券売却益)	(	1,298)	( 2,906)	( 1,608)
その他経常収益		1,583	1,459	△ 123
(うち支払備金戻入額)	(	939)	( 846)	( △ 92)
経常費用		125,675	136,678	11,002
保険金等支払金		60,839	59,011	△ 1,827
(うち保険金)	(	10,789)	( 14,950)	( 4,160)
(うち年金)	(	1,150)	( 1,315)	( 164)
(うち給付金)	(	18,972)	( 12,515)	( △ 6,457)
(うち解約戻金)	(	28,253)	( 28,129)	( △ 123)
(うちその他戻金)	(	258)	( 282)	( 24)
責任準備金等繰入額		38,016	49,186	11,170
責任準備金繰入額		38,016	49,186	11,169
契約者配当金積立利息繰入額		0	0	0
資産運用費用		5,503	6,266	762
(うち支払利息)	(	202)	( 232)	( 30)
(うち有価証券売却損)	(	396)	( 201)	( △ 194)
(うち金融派生商品費用)	(	718)	( 2,047)	( 1,329)
(うち為替差損)	(	4,180)	( 3,750)	( △ 429)
事業費		20,028	20,826	798
その他経常費用		1,288	1,387	99
経常利益		6,468	7,994	1,525
特別損失		136	100	△ 35
契約者配当準備金繰入額		1,741	3,340	1,598
税引前四半期純利益		4,590	4,553	△ 36
法人税及び住民税		972	1,616	644
法人税等調整額		746	34	△ 712
法人税等合計		1,719	1,651	△ 68
四半期純利益		2,871	2,902	31

経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	前第1四半期累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）	比較増減
基礎利益 A	6,211	7,260	1,049
キャピタル収益	5,742	7,034	1,292
有価証券売却益	1,298	2,906	1,608
その他キャピタル収益	4,444	4,128	△ 316
キャピタル費用	5,371	5,975	603
有価証券売却損	396	201	△ 194
金融派生商品費用	795	2,023	1,227
為替差損	4,180	3,750	△ 429
キャピタル損益 B	371	1,059	688
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	6,582	8,320	1,737
臨時収益	0	-	△ 0
個別貸倒引当金戻入額	0	-	△ 0
臨時費用	114	325	211
危険準備金繰入額	114	321	207
個別貸倒引当金繰入額	-	3	3
臨時損益 C	△ 113	△ 325	△ 212
経常利益 A+B+C	6,468	7,994	1,525

- （注） 1. 金融派生商品収益・費用のうち基礎利益に含めている金利スワップ取引に係る受取・支払利息の額（純額）は、前第1四半期累計期間においては77百万円の益、当第1四半期累計期間においては24百万円の損であります。
2. その他キャピタル収益は、責任準備金繰入額のうち外貨建保険商品に係る責任準備金の為替変動による減少額であります。

#### 4. 資産運用関係（一般勘定）

##### 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

区 分	前事業年度末 (平成24年3月31日)					当第1四半期会計期間末 (平成24年6月30日)				
	帳簿価額	時価	差損益		帳簿価額	時価	差損益			
			差益	差損			差益	差損		
満期保有目的の債券	2,142,339	2,226,235	83,896	95,216	△ 11,320	2,323,088	2,426,561	103,472	113,360	△ 9,887
責任準備金対応債券	221,781	235,771	13,990	14,036	△ 46	213,263	228,189	14,925	14,937	△ 12
その他有価証券	1,256,583	1,296,587	40,004	44,476	△ 4,471	1,414,793	1,462,728	47,935	52,215	△ 4,280
公社債	1,067,811	1,106,875	39,063	43,528	△ 4,464	1,261,260	1,308,258	46,998	51,278	△ 4,280
株式	60	97	36	36	-	-	-	-	-	-
外国証券（公社債）	11,730	12,636	905	912	△ 6	10,551	11,488	937	937	△ 0
その他	176,979	176,979	-	-	-	142,981	142,981	-	-	-
合計	3,620,704	3,758,595	137,890	153,729	△ 15,838	3,951,146	4,117,479	166,333	180,514	△ 14,180
公社債	3,329,544	3,458,297	128,753	144,554	△ 15,801	3,703,611	3,860,555	156,944	171,118	△ 14,174
株式	60	97	36	36	-	-	-	-	-	-
外国証券（公社債）	114,120	123,221	9,101	9,138	△ 37	104,553	113,942	9,389	9,395	△ 6
その他	176,979	176,979	-	-	-	142,981	142,981	-	-	-

（注）その他は、買入金銭債権で計上されたものを記載しております。

##### デリバティブ取引の時価情報

###### ・金利関連

（単位：百万円）

区 分	種 類	前事業年度末 (平成24年3月31日)			当第1四半期会計期間末 (平成24年6月30日)				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	金利スワップ取引								
	固定金利受取／変動金利支払	69,100	69,100	△ 1,629	△ 1,629	69,100	69,100	826	826
	固定金利支払／変動金利受取	56,000	56,000	△ 2,757	△ 2,757	56,000	56,000	△ 5,144	△ 5,144
	合 計				△ 4,386				△ 4,318

###### ・通貨関連

（単位：百万円）

区 分	種 類	前事業年度末 (平成24年3月31日)			当第1四半期会計期間末 (平成24年6月30日)				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	為替予約								
	売建（米ドル）	1,115	-	8	8	309	-	0	0
	買建（米ドル）	161	-	△ 1	△ 1	117	-	△ 0	△ 0
	合 計				6				0

（注）為替予約における各期末の時価の算定には、先物相場を使用しております。

###### ・債券関連

（単位：百万円）

区 分	種 類	前事業年度末 (平成24年3月31日)			当第1四半期会計期間末 (平成24年6月30日)				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	債券店頭オプション取引								
	売建								
	コール	-	-	-	-	34,268	-	-	-
	プット	(-)	(-)	-	-	(44)	(-)	96	△ 52
	買建								
	コール	-	-	-	-	52,704	-	180	100
	プット	(-)	(-)	-	-	(281)	(-)	-	-
	コール	-	-	-	-	60,943	-	-	-
	プット	(-)	(-)	-	-	(256)	(-)	201	△ 54
	合 計				-				△ 6

（注）1. 債券店頭オプション取引については、（ ）で契約時のオプション料を示しております。

2. 差損益欄には、オプション料と時価との差額を記載しております。

5. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成24年6月30日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	393,938	405,083
資本金等	96,773	94,675
価格変動準備金	3,969	4,066
危険準備金	25,786	26,108
一般貸倒引当金	442	471
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	36,004	43,141
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	153,491	158,506
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性 資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	77,470	78,113
リスクの合計額 (B)	36,715	41,331
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$		
保険リスク相当額 (R <sub>1</sub> )	12,830	12,818
第三分野保険の保険リスク相当額 (R <sub>8</sub> )	3,162	3,230
予定利率リスク相当額 (R <sub>2</sub> )	6,061	5,874
最低保証リスク相当額 (R <sub>7</sub> )	-	-
資産運用リスク相当額 (R <sub>3</sub> )	25,918	31,060
経営管理リスク相当額 (R <sub>4</sub> )	959	1,059
ソルベンシー・マージン比率 (C)	2,145.8%	1,960.1%
$[(A)/\{(B) \times 1/2\}] \times 100$		

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成24年6月30日)
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	3,981,048	4,344,994
負債の部に計上されるべき金額の合計額 を基礎として計算した金額 (2)	3,489,519	3,813,226
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	491,528	531,767
満期保有目的の債券・責任準備金対応 債券の含み損益 (4)	97,886	118,398
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	393,642	413,369

## 6. 用語説明

「保険業績関係」(P 1)

### ●保有契約高

- 個人保険および団体保険

期末時点で保有している契約に係る死亡時における支払金額等の総合計額。

- 個人年金保険

期末時点で保有している契約のうち、年金支払開始前の契約については年金支払開始時における年金原資の額、年金支払開始後の契約については責任準備金の額。

- 団体年金保険

責任準備金の額。

### ●新契約高

- 個人保険および団体保険

当年度に引き受けた契約に係る死亡時における支払金額等の総合計額。

- 個人年金保険

当年度に引き受けた契約に係る年金支払開始時における年金原資等の額。

- 団体年金保険

第1回収入保険料。

### ●年換算保険料

各契約の全期間の払込保険料総額（一時払契約については一時払保険料）を保険期間等で除して1年あたりの保険料に換算した金額。

### ●医療保障・生前給付保障等

医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する保障。

「ソルベンシー・マージン比率」(P 6)

### ●ソルベンシー・マージン比率

- 保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や満期保険金支払等に備えて準備金を積み立てていますが、巨大災害の発生や、保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。

- こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」（表の(B)）に対する「保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわちソルベンシー・マージン総額：表の(A)）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「ソルベンシー・マージン比率」（表の(C)）であります。

- 「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。

- ① 保険引受上の危険（保険リスク・第三分野保険の保険リスク）： 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険

- ② 予定利率上の危険（予定利率リスク）：運用環境の悪化等により、実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
  - ③ 最低保証に係る危険（最低保証リスク）：特別勘定を設けた保険契約のうち保険金等の額を最低保証するものについて、保険金等を支払うときにおける特別勘定に属する財産の価額が、最低保証する保険金等の額を下回る危険であって、特別勘定に属する財産の通常の予測を超える価額の変動等により発生し得る危険
  - ④ 資産運用上の危険（資産運用リスク）：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
  - ⑤ 経営管理上の危険（経営管理リスク）：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～④以外のもの
- 「保険会社が有している資本金・準備金等の支払余力」（ソルベンシー・マージン総額）とは、保険会社の資本金等（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。
  - ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。

#### ●実質資産負債差額

実質資産負債差額とは、有価証券や不動産の含み損益等を反映した、いわば時価ベースの資産の合計から、価格変動準備金や危険準備金等の資本性の高い負債を除いた負債の合計を差し引いて算出するもので、保険会社の健全性を示す行政監督上の指標のひとつであります。（P 6の表ではこれを「実質資産負債差額A」と表記しております。）

また、「実質資産負債差額A」から満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の時価評価額と帳簿価額の差額を控除したものを「実質資産負債差額B」とし、併せて同表に記載しております。